

千葉教育

菊

令和元年度
No.658

千葉の子どもたちの未来のために

10・11月

特集 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

○シリーズ 現代の教育事情

國學院大學人間開発学部初等教育学科教授

田村 学

文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長

板倉 寛

県教育庁教育振興部学習指導課

我孫子市教育委員会指導課

○提 言

株式会社マイナビ地域創生 代表取締役社長

横尾 隆義



千葉県総合教育センター

目次

千葉教育 菊 No. 658

- ◆学校自慢 長年の成果を生かすとき 成田市立大栄中学校校長 阿部 光雄
- ◆提言 地域を活性化するための発想の転換（廃校活用） 株式会社マイナビ地域創生 代表取締役社長 横尾 隆義…2

シリーズ！現代の教育事情「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて 國學院大學人間開発学部初等教育学科教授 田村 学…4
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長 板倉 寛…6
- 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用した授業改善 県教育庁教育振興部学習指導課…8
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて 我孫子市教育委員会指導課…10

私の教師道

- 学校を創る 信頼される学校づくりを目指して 旭市立干潟中学校校長 齊藤 実…12
- 学校を支える 生徒・保護者・地域から信頼される蔵波中を目指して 袖ヶ浦市立蔵波中学校教頭 白木 克也…14
- 学校を動かす 多くの先生方に感謝…教職員との繋がりの大切さ 県立八街高等学校主幹教諭 向後 孝憲…16
- 子供を知る 教師として、一人の人間として 茂原市立東郷小学校教諭 片岡 広一…17
- 子供を知る 「待つ」ことの大切さ 銚子市立銚子中学校教諭 増田 峻人…17
- 授業を創る 総合的な学習の時間を通して育む地域愛 野田市立宮崎小学校教諭 金木 夏海…18
- 授業を創る 心を育てる美術の授業を目指して 習志野市立第三中学校教諭 日下部理英子…20

活・研究 長期研修生からの報告

- 小学校編 学びに向かう力を涵養する理科学習 一見通しと振り返りを促すOPPAを通してー いすみ市立東小学校教諭（前大多喜町立大多喜小学校教諭） 藤平 健太…22
- 小学校編 対話を続け意見を育てる意見文指導 ー対話的な場「校内投書」の設定と情報を関係付ける力の育成を通してー 鎌ヶ谷市教育委員会学校教育指導室副主幹（兼）指導主事（前鎌ヶ谷市立東部小学校教諭） 新井 翔…23
- 中学校編 思考力を働かせる学習サイクルの構築 ー定型表現で終わらない「やり取り」の力を育成するためにー 浦安市立高洲中学校教諭（前浦安市立浦安中学校教諭） 高島 健治…24
- 高等学校編 地域とともに歩む学校づくりと高校生の担う役割について ～“教えることは学ぶこと”の実践を通して資質・能力の向上を図る～ 県立木更津高等学校教諭（前県立君津高等学校教諭） 中山 晃男…25

ケーススタディ

- 安全推進計画と校内安全点検表 和洋女子大学特任教授 柴内 靖…26

保幼小の連携

- つながりのある教育 ～保幼小の連携～ 流山市幼児教育支援センター附属幼稚園長 田中 明子…28

教育の情報化

- ICTを活用した授業づくり 県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当…29

情報アラカルト

- 思考ツールの内容と活用 県総合教育センターカリキュラム開発部研究開発担当…30
- 令和元年度特別展「絵のみち・祈りのこころ ー日本画家 後藤純男の全貌ー」 県立美術館学芸課…32
- 郷土の学習に使えるコンテンツ「千葉県の民話リスト」のご案内 県立中央図書館…33

学校 NOW！

- 先進校の取組 新聞を校内の活動に生かす 船橋市立芝山中学校…34
- 学校歳時記 学校を不断に見直す ー学校施設の長寿命化をめぐる動きー 千葉大学教育学部特任教授 天笠 茂…36
- ◆発信！特別支援教育 卒業後の豊かな生活や生涯学習の充実に向けての取組 県立特別支援学校市川大野高等学校実践 県総合教育センター特別支援教育部…38
- ◆千葉歴史の散歩道 「酒々井町墨古沢遺跡」環状ブロック群の“謎” 県教育庁教育振興部文化財課埋蔵文化財班主任上席文化財主事 永塚 俊司

通

標

新学習指導要領では、未来を生きる子供たちに必要とされる資質・能力の三つの柱、すなわち「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成することを目指し、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと」が示された。

また、県教育委員会は「自ら学び、思考し、表現する力」の育成に向けて『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』を改訂し、学習活動の質を高めながら習得・活用・探究という学習サイクルの確立を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。

これらを受け、各学校では、それぞれの地域や学校の実態・課題を踏まえながら、様々な授業改善の取組を行っているところである。このことは、学校教育が大切にしてきたものであり、これまで多くの実践が積み重ねられてきている。

ここでは、この蓄積を生かし、子供たちの学びの質を一層高めることができるようにするために「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点で、どのように授業づくり・授業改善を進めていけばよいのか考えていきたい。